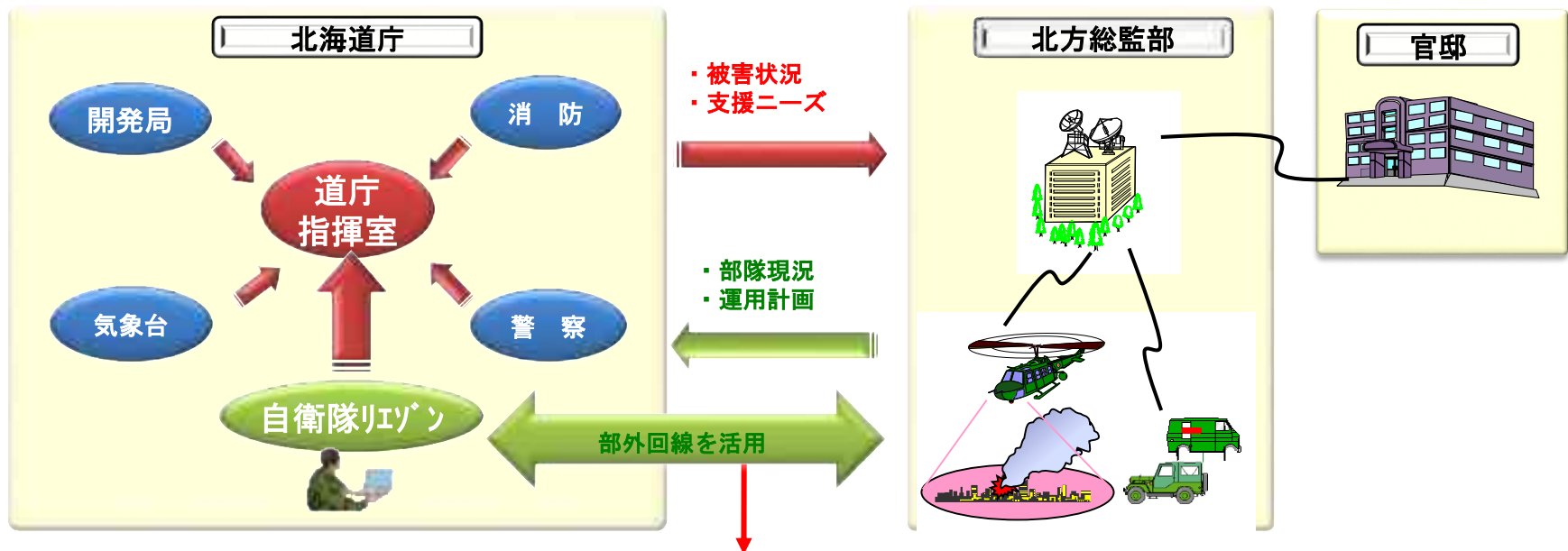


自衛隊リエゾンの派遣に係る成果（総監部との情報共有）

区 分	内 容
状況等	①速やかに自衛隊リエゾンを派遣し、道との情報共有のため陸上自衛隊システムを設置。これにより道庁との部隊運用や被災状況の共有が促進された。 ②ヘリ映伝の映像を官邸及び道庁等に配信し、現場の状況について中央及び道とリアルタイムに情報共有することができた。
教 訓	①道庁内における自衛隊専用通信回線の構成（陸上自衛隊システム等の迅速な設置のための事前設定）【北海道庁と調整】 ②陸上自衛隊システム端末及びインターネット端末等、自衛隊リエゾン用装備品の見直し【自衛隊処置】 ③北海道全域における関係防災機関共通の地図の整備を要望【道庁への要望】

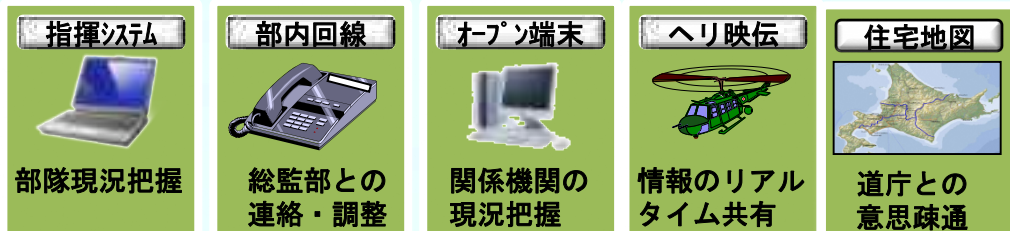


地域との連携

【自衛隊リエゾン派遣実績】

期 間：8月17日（水）～9月18日（日）
 派遣振興局等：最大56箇所
 派遣延数（人日）：約430人日

総監部と自衛隊リエゾン間の情報共有を促進させる手段



台風10号に伴う災害派遣活動におけるヘリコプター等の運用調整の実態と対応

区 分	内 容
状況等	航空機の運用ニーズは、警察及び消防等の各情報系統により振興局を介することなく直接道庁に集約され、道庁の要請に応じ総監部が航空機の派出を隊区担任部隊に指示するも、隊区担任部隊は、振興局からの要請がない（認識がない）中での航空機派出の必要性の理解に時間を要したため、航空機の派出に関する調整に影響を及ぼした。
教 訓	①自衛隊各部隊間の情報共有 ②道庁と振興局との情報共有 ③ 現地における自衛隊と関係自治体・関係防災機関との情報共有

